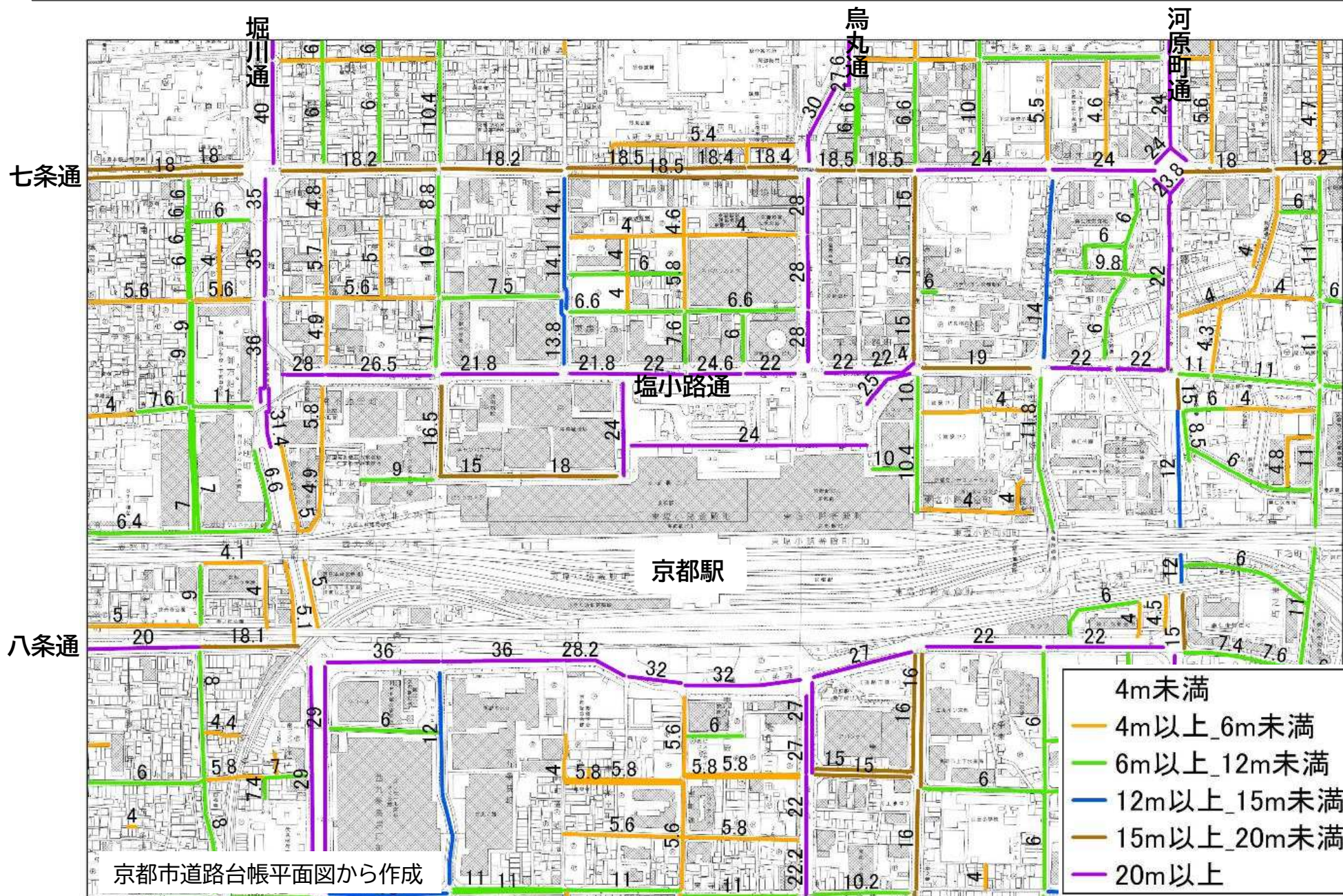


○京都駅前_の現状

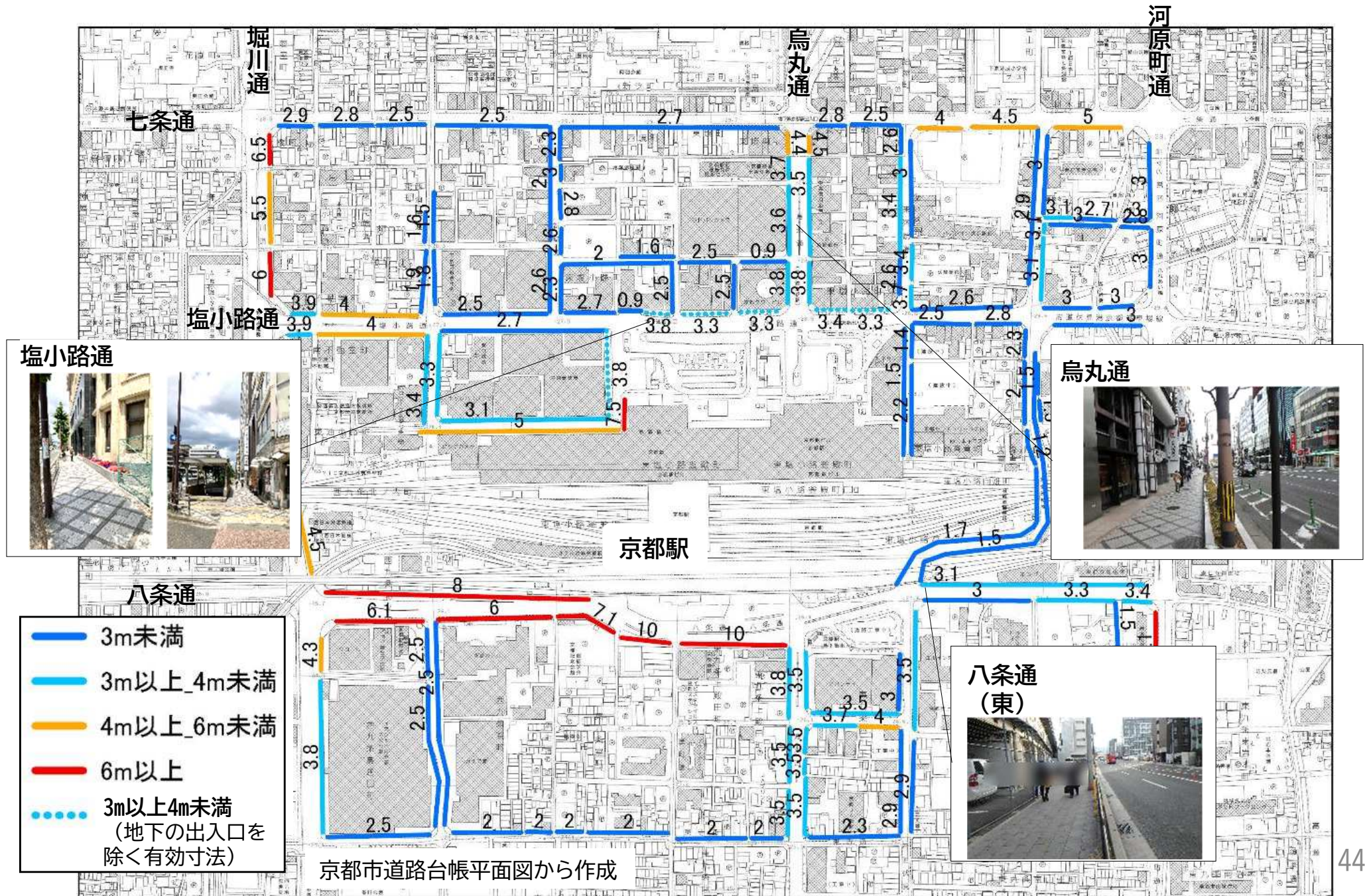
3) 道路、駅前広場の状況

道路、駅前広場の状況(道路幅員)

・ 駅周辺の道路幅員は、大通りで20~30m、その他の通りは12m以下が大半。



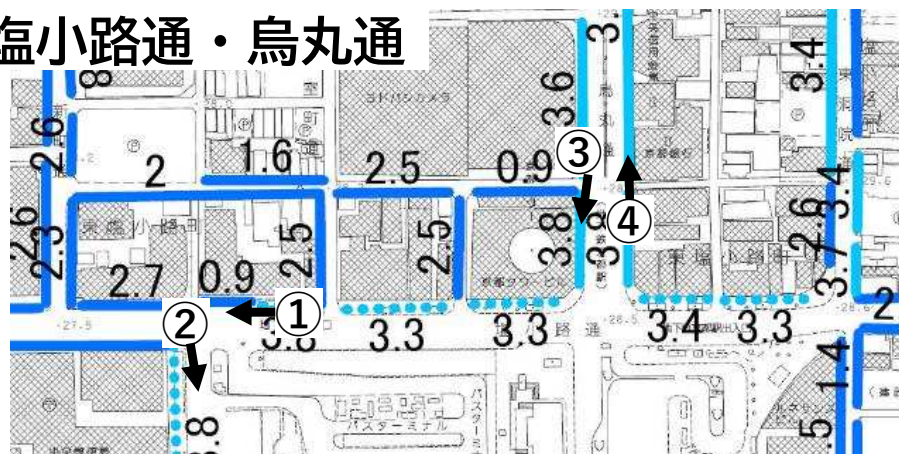
道路、駅前広場の状況(歩道幅員)



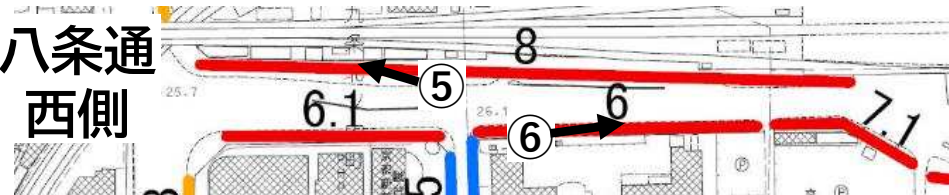
道路空間の現況 (歩道幅員・混雑度)

塩小路通・烏丸通 : 歩道が狭く、人流が比較的多いため、一部混雑が見られる
八条通西側 : 歩道が広くゆとりがある。
八条通東側 : 歩道は狭いが、人流が少なく混雑はしていない。

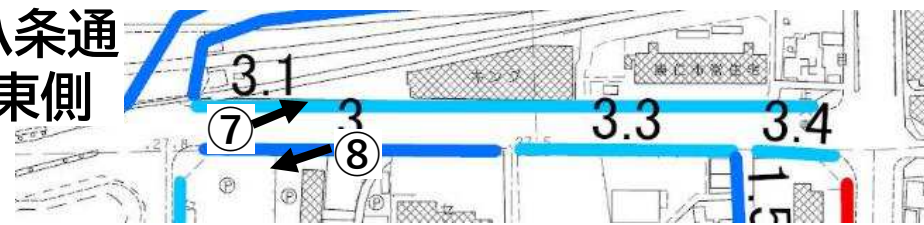
塩小路通・烏丸通



八条通 西側

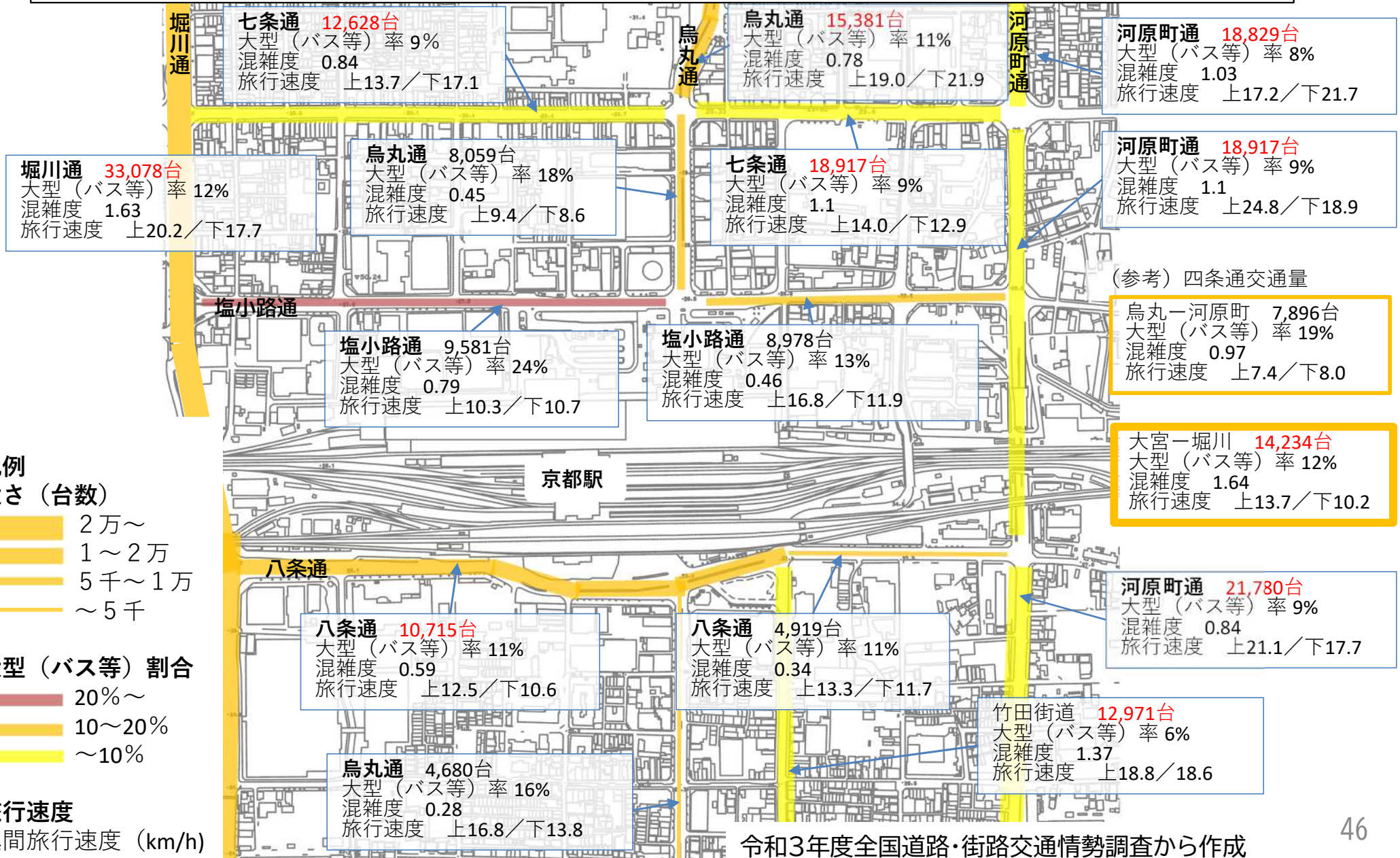


八条通 東側

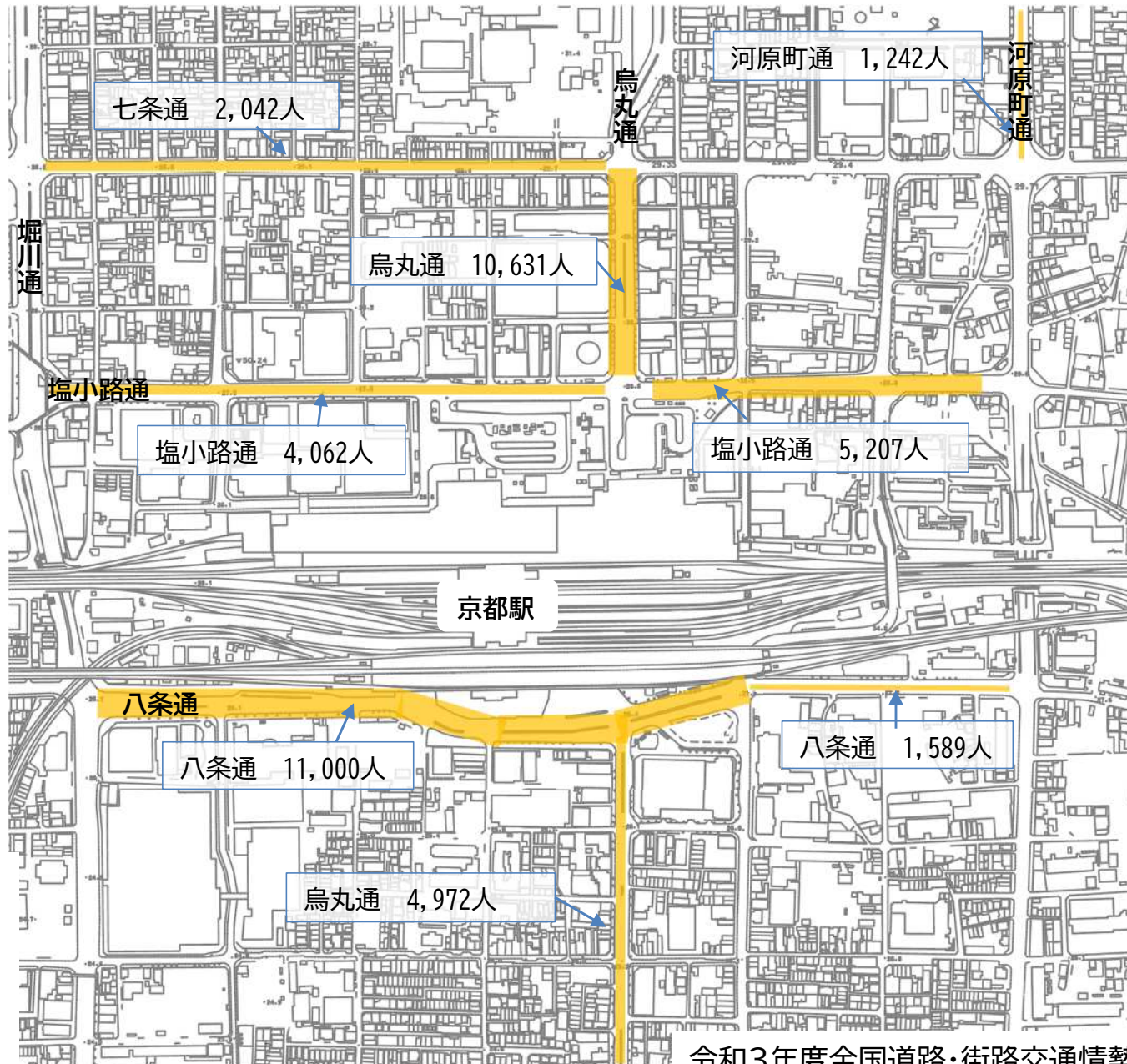


交通の状況(車:平日12時間交通量(上下計)、大型車混入率、混雑度、昼間旅行速度)

・交通量・混雑度・旅行速度の値について、駅近傍の道路(烏丸通、塩小路通等)は、周囲の幹線道路(七条通、河原町通、堀川通)と比べて小さい。



交通の状況(歩行者:平日12時間交通量(上下計))



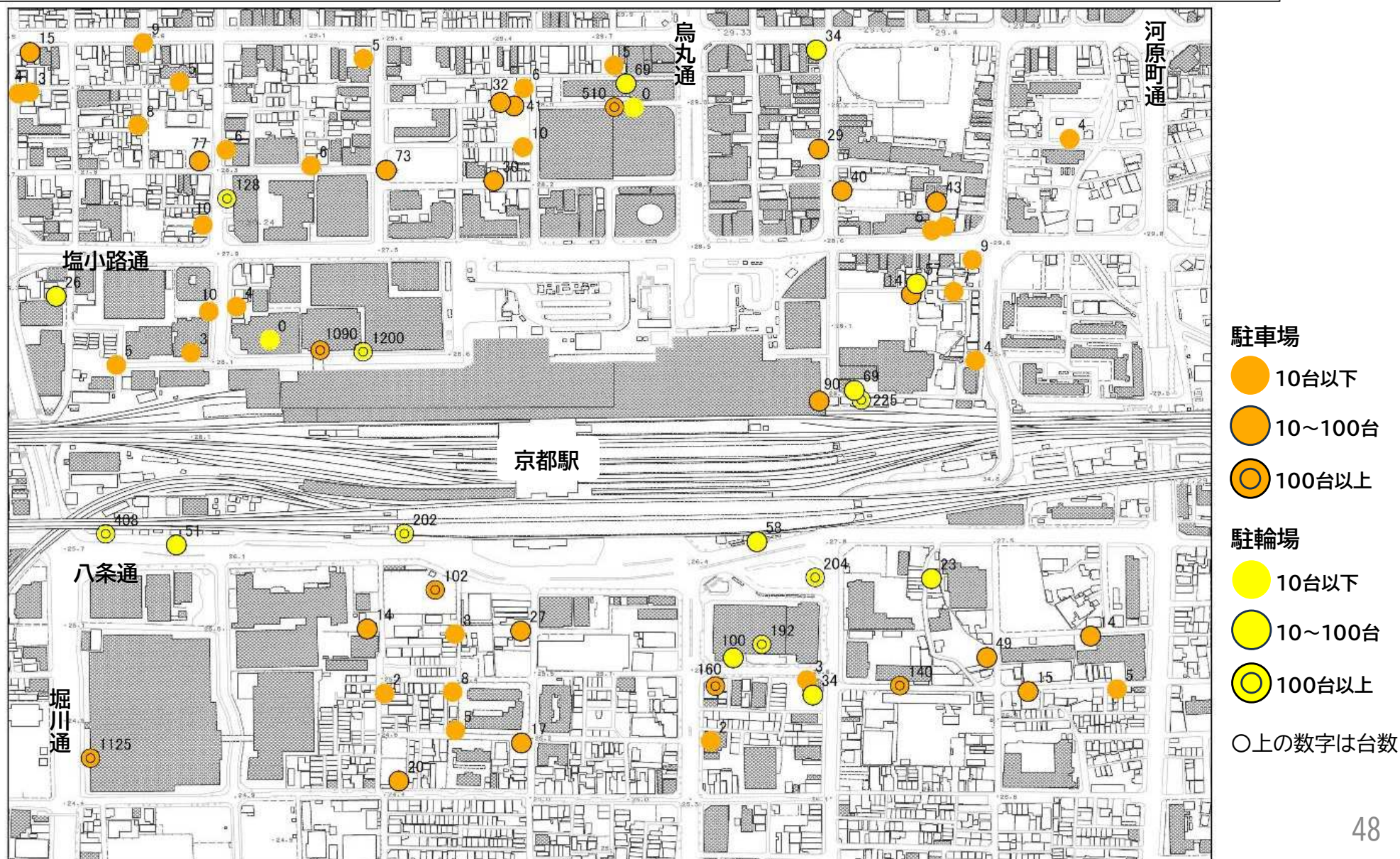
(参考) 四条通交通量

烏丸—河原町
27,787人

- 凡例
太さ (人数)
- 1万～
 - 5千～1万
 - 2千～5千
 - ～2千

駐車場、駐輪場の状況

- ・大規模な駐車場・駐輪場が京都駅や大型商業施設に存在。
- ・中小の駐車場・駐輪場が道路沿いや街区内部に点在している。

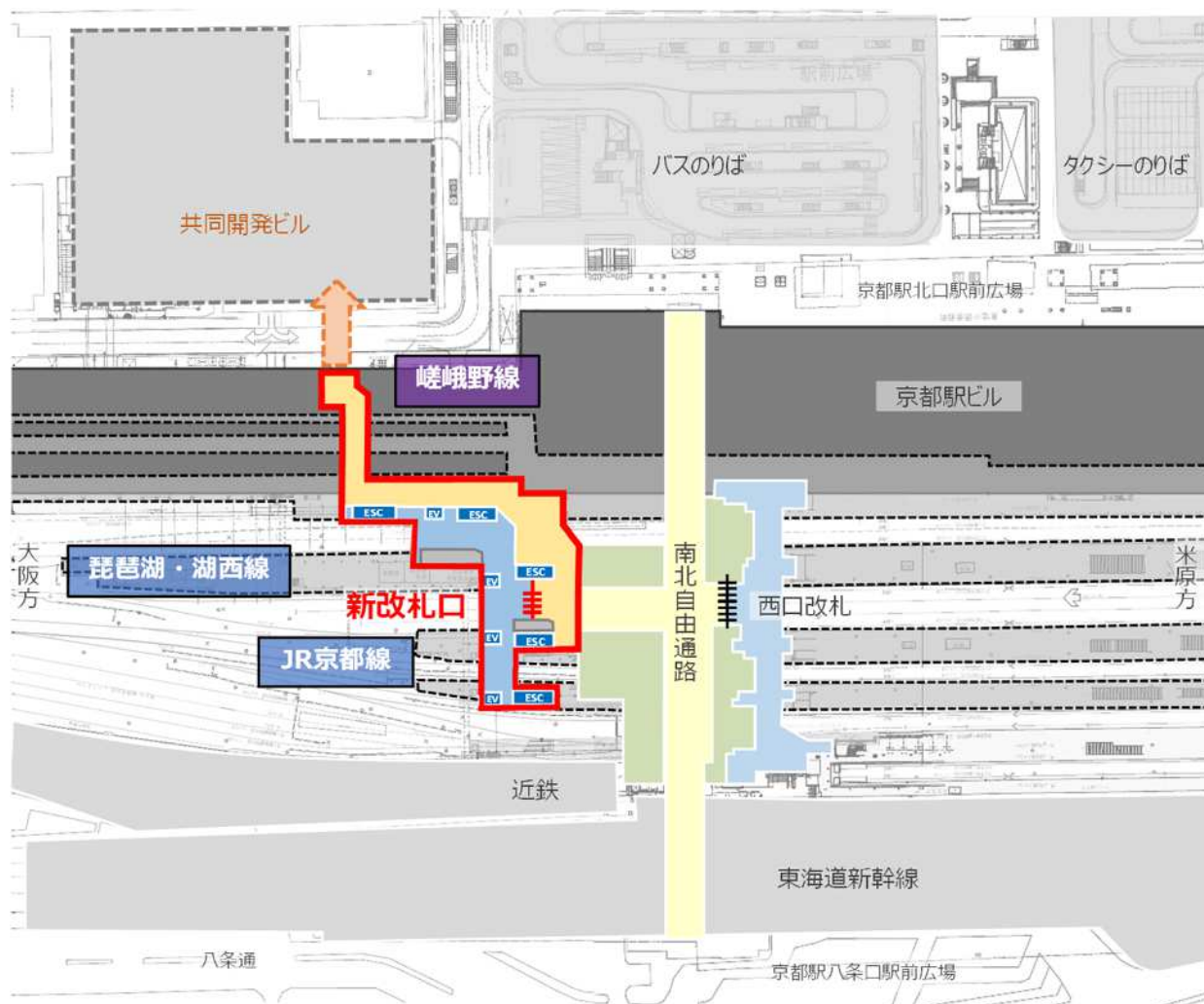


新たな自由通路の整備

京都駅の新橋上駅舎・自由通路整備事業が進行中。

(整備効果)

- ・ 京都駅の交通結節機能の強化による市全体の持続的発展、活性化
- ・ 人の流動を誘導・分散する新たな動線確保による駅周辺地域全体の活性化
- ・ 駅ホーム、南北自由通路、駅前広場（バス乗り場等）等の混雑緩和



広場の現況(通行・滞留空間)

- ・中央の南北動線は、狭い空間にバス待ち、待ち合せ、通行が集中しており混雑。
- ・人が滞留できる余剰空間が少なく、ベンチ等の休憩場所もない。

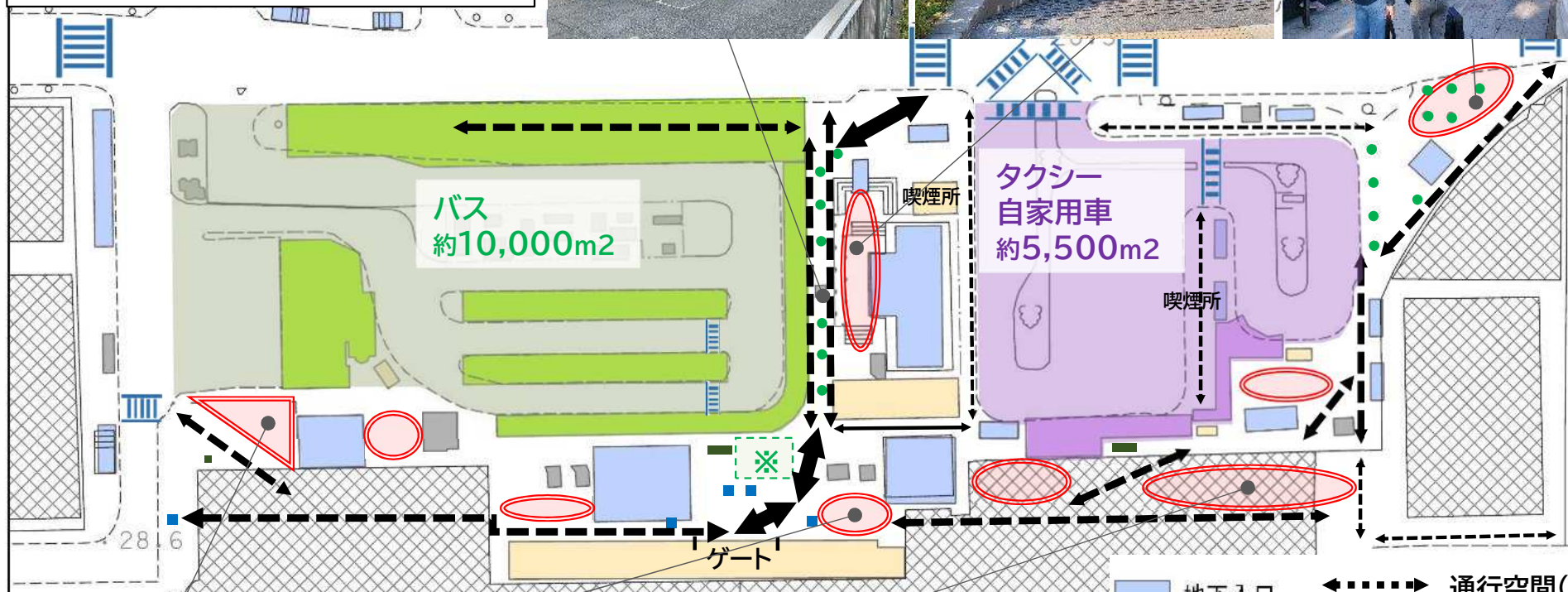
環境空間比 約48%(現状)

参考

標準値 50% (1998年駅前広場計画指針)

他事例 姫路駅67%/丸の内73%

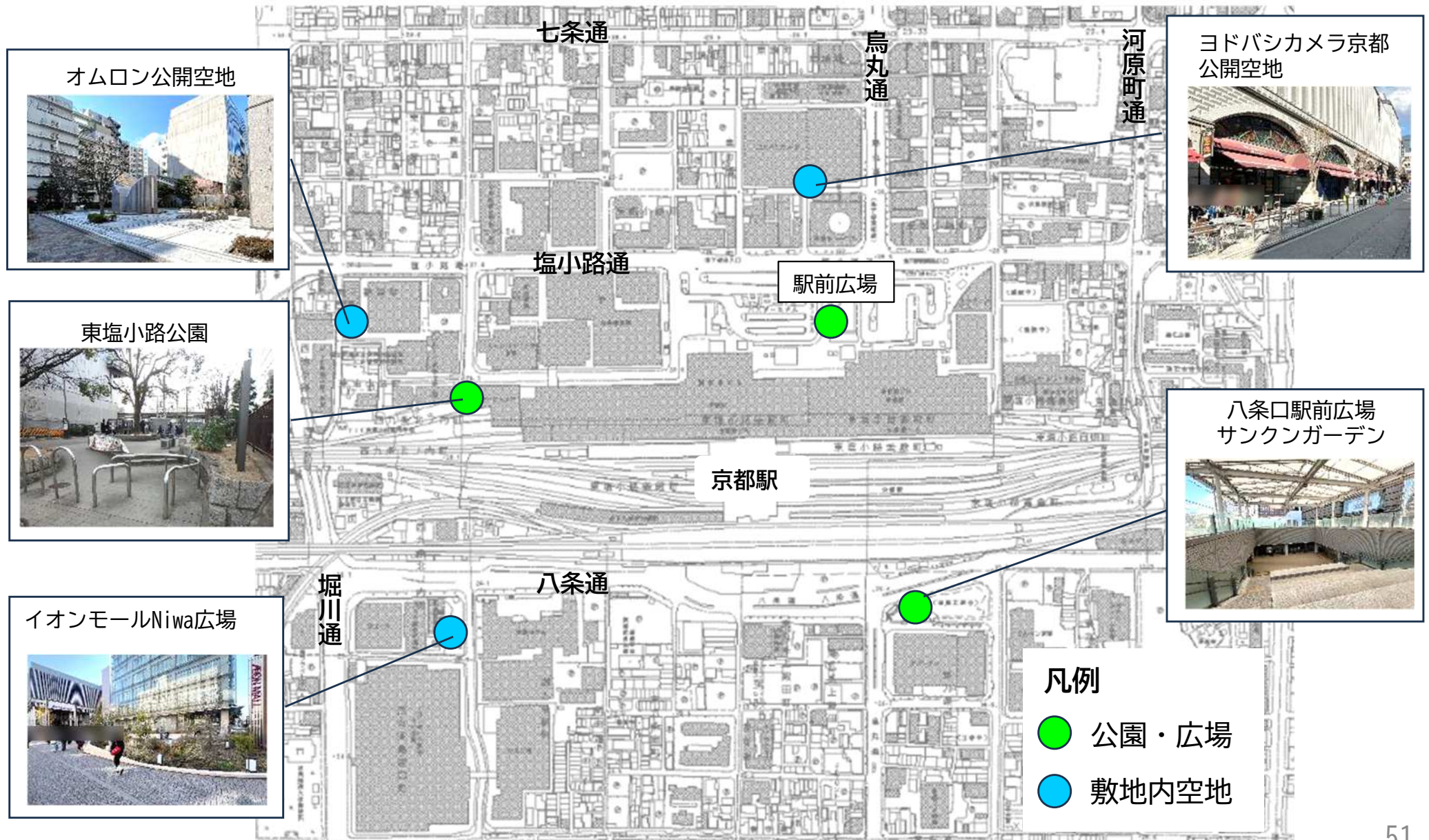
広場面積 23,400m²(都市計画決定範囲)



- 地下入口
- バス停上屋
- タクシー上屋
- 設備
- その他
- バス待ち列の延伸スペース
- 通行空間(人流)
- 滞留できる空間
- フラッグポール
- サイン看板
- 樹木

オープンスペースの状況

- ・ 京都駅近傍に公園・広場・緑地等のオープンスペースは少量かつ小規模。

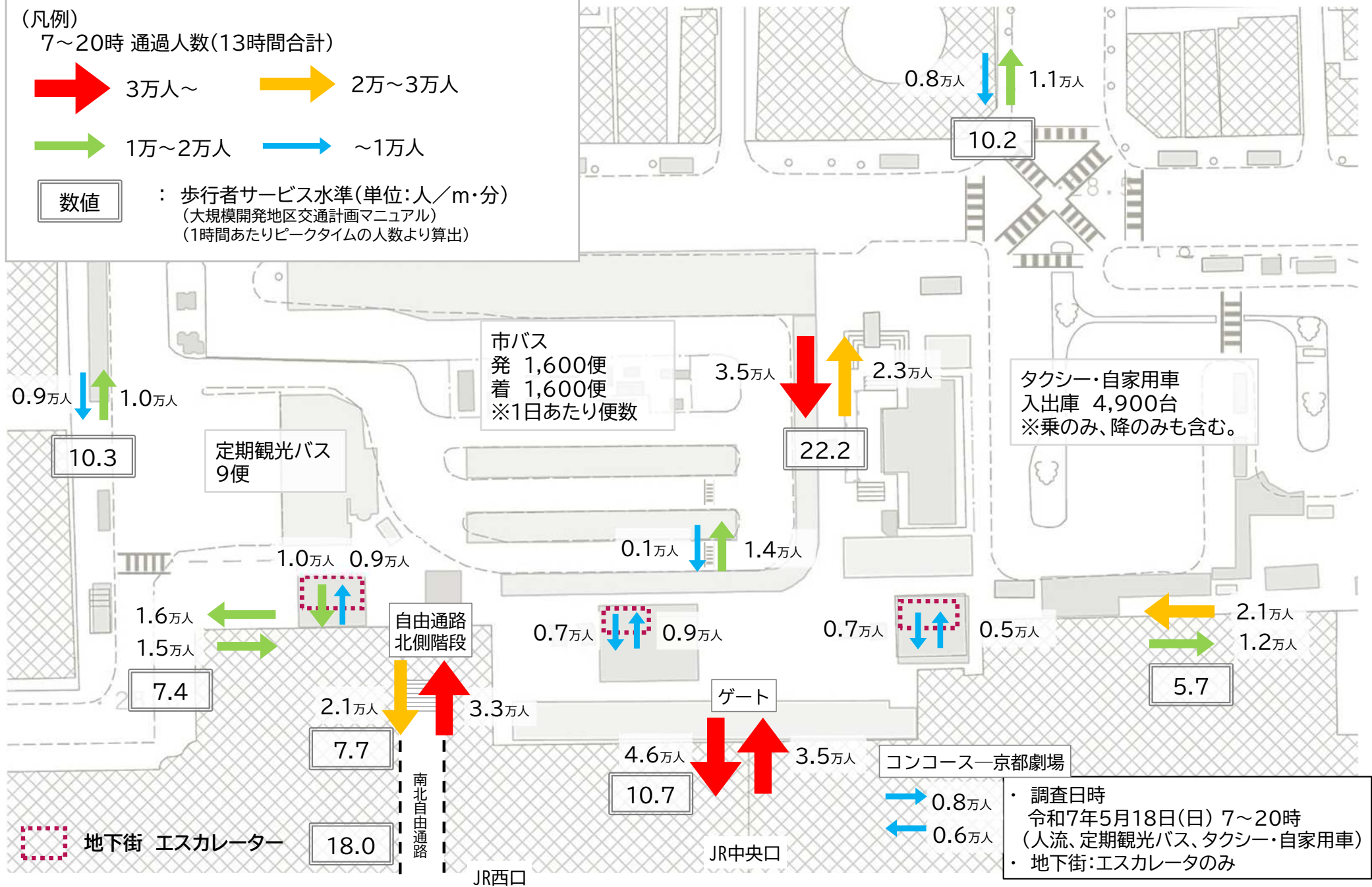


人流

(凡例)
7~20時 通過人数(13時間合計)



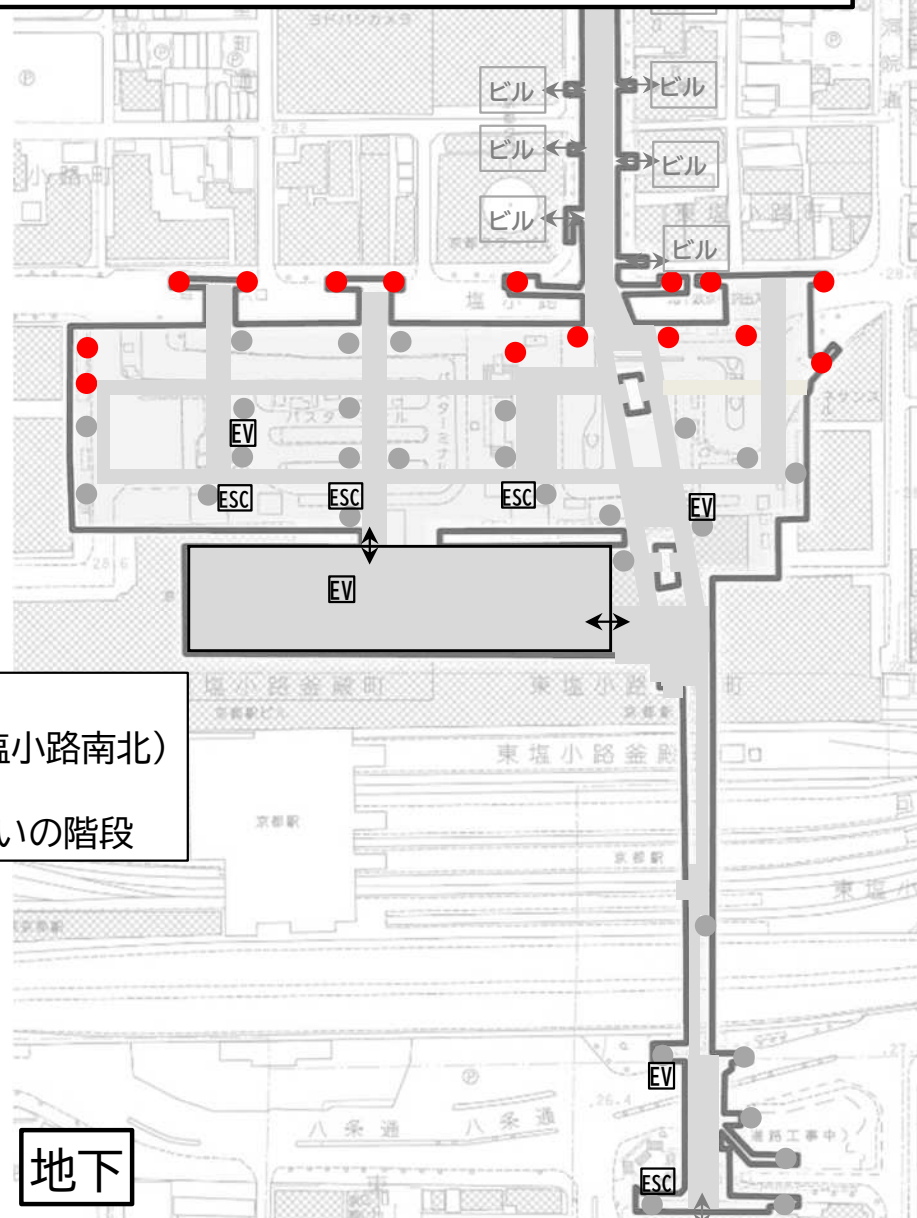
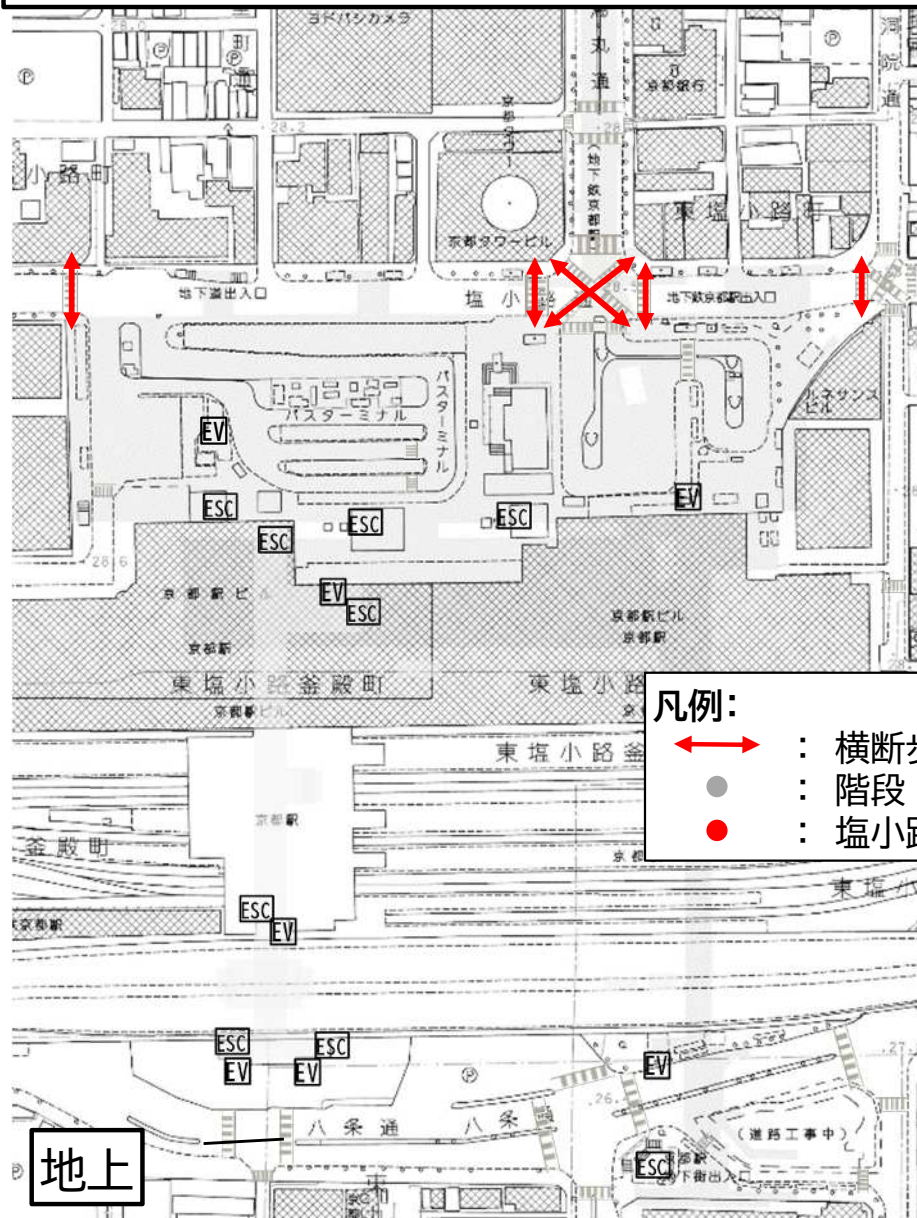
数値 : 歩行者サービス水準(単位:人/m・分)
 (大規模開発地区交通計画マニュアル)
 (1時間あたりピークタイムの人数より算出)



・ 調査日時
 令和7年5月18日(日) 7~20時
 (人流、定期観光バス、タクシー・自家用車)
 ・ 地下街:エスカレーターのみ

駅からまちへのアクセス

- ・ 塩小路通を南北に往来する人流は多いが、横断可能な箇所は、地上:3か所の横断歩道、地下:歩道に通じる階段のみ。バリアフリーも含め、アクセスが良いとは言えない状況。

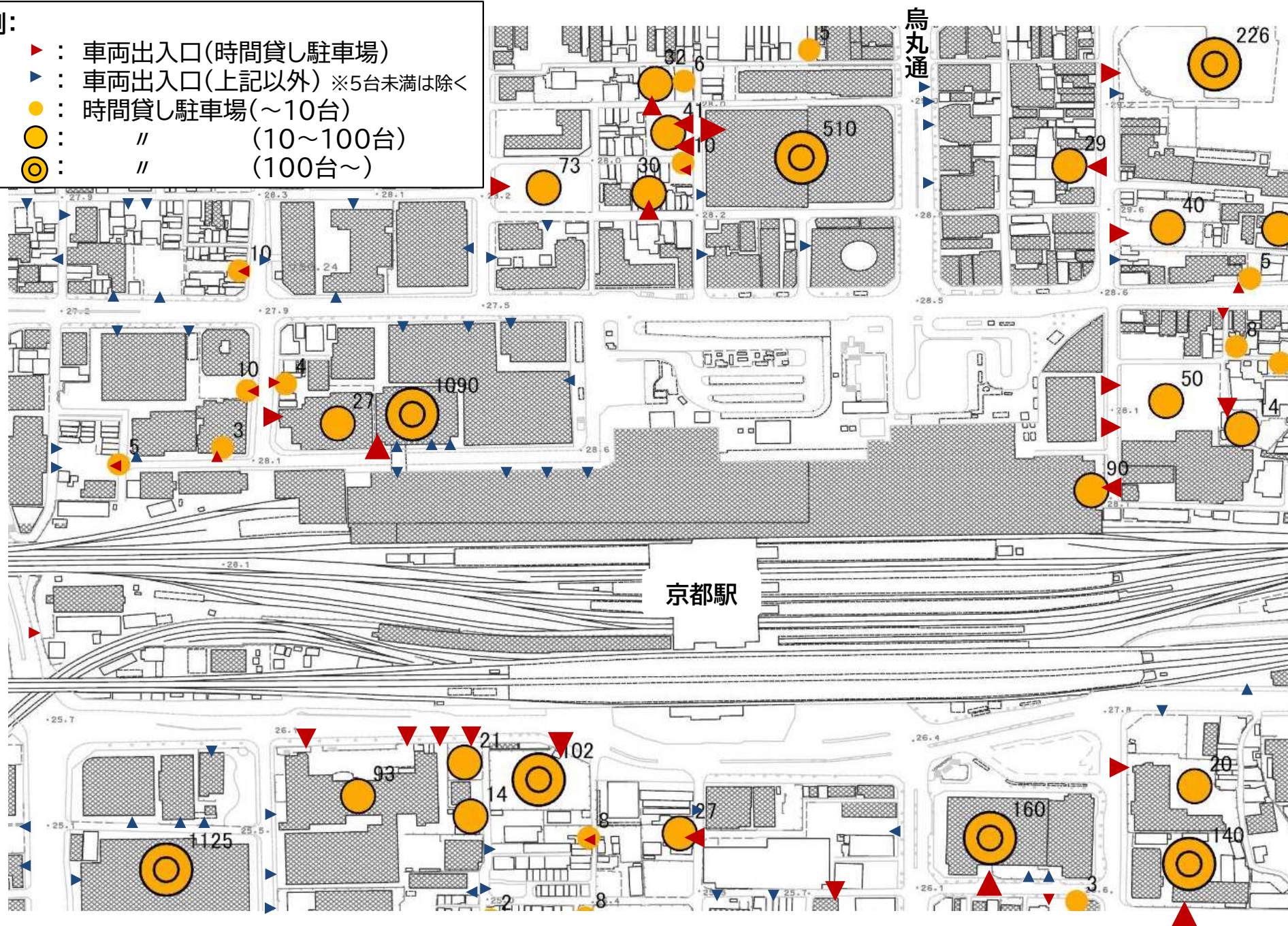


凡例:

- ↔ : 横断歩道(塩小路南北)
- : 階段
- : 塩小路通沿いの階段

駐車場の出入口

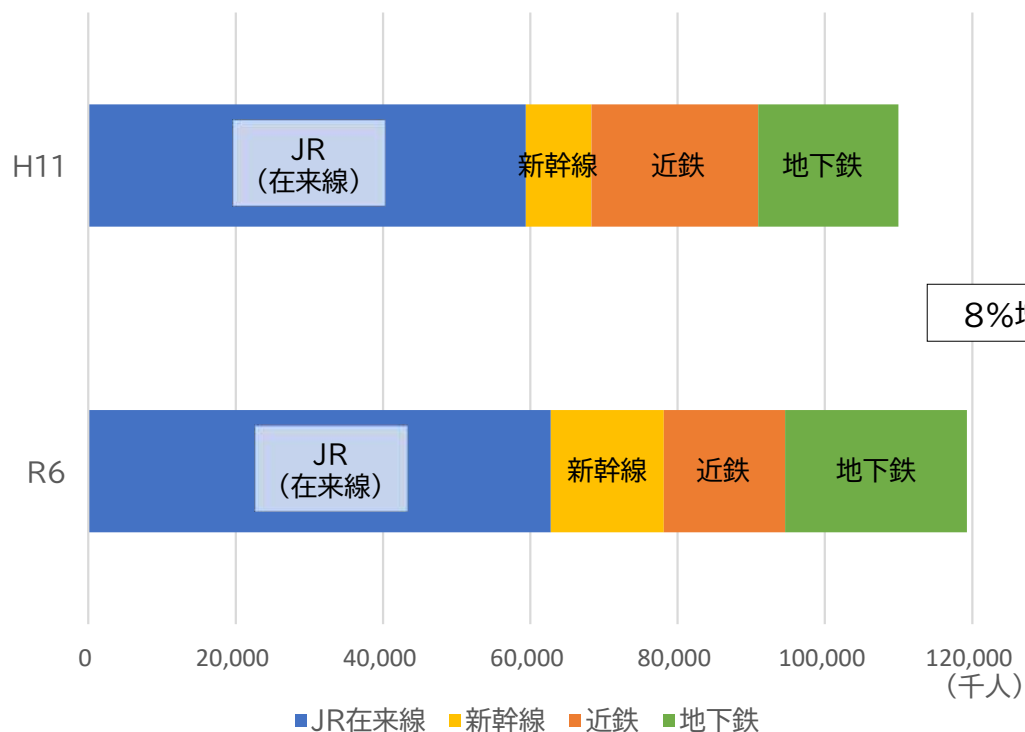
- 凡例:
- ▶ : 車両出入口(時間貸し駐車場)
 - ▶ : 車両出入口(上記以外) ※5台未満は除く
 - : 時間貸し駐車場(～10台)
 - : // (10～100台)
 - ◎ : // (100台～)



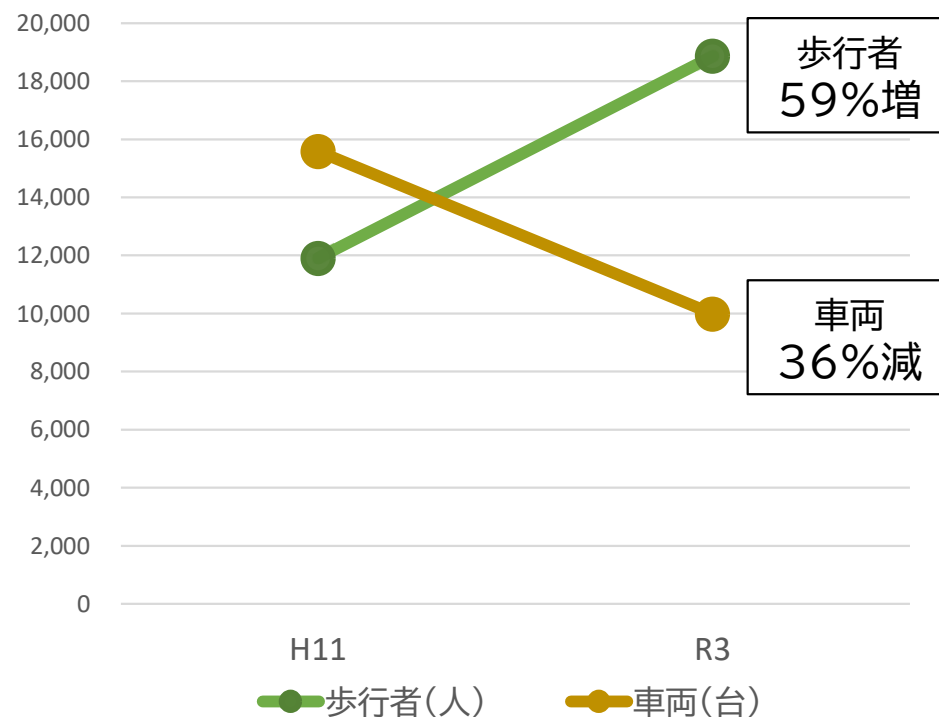
京都駅来訪者・歩行者の推移

- ・ 京都駅鉄道乗車人員は増加傾向にある。
- ・ 駅前大通り（烏丸通）の車両は大幅に減少、歩行者は大幅に増加している。

京都駅 鉄道乗車人数(年間)



歩行者・車両(烏丸通(七条一塩小路)・休日12時間)



	H11	R6	(H11比)
JR(在来線)	5,940万人	6,279万人	(+6%)
JR(新幹線)	893万人	1,533万人	(+72%)
近鉄	2,264万人	1,649万人	(△27%)
地下鉄	1,902万人	2,467万人	(+30%)

	H11	R3	(H11比)
車両	15,587台	9,968台	(△36%)
歩行者	11,903人	18,867人	(+59%)

○京都駅前_前の現状

4) 街並み

駅前の街並み現況

① 駅前広場から北方向



② 駅前広場から西方向



③ 烏丸通を北方向



④ 塩小路通を西方向



⑤ 八条通を西方向



⑥ 八条通を東方向



写真撮影位置図

駅周辺の街並みを特徴づける建物



JR京都駅ビル
原広司/アトリエ
・ファイ建築研
究所

出典：京都・梅小路エリアガイド



京都市立芸術大学
乾・RING・FUJIWALABO・o+h・
吉村設計共同体



元ワコール新京都ビル
飛島建設



オムロン京都センター
ビル啓真館
株式会社竹中工務店



京都タワー
山田守/山田守建築事務所
+ 京都大学棚橋研究室



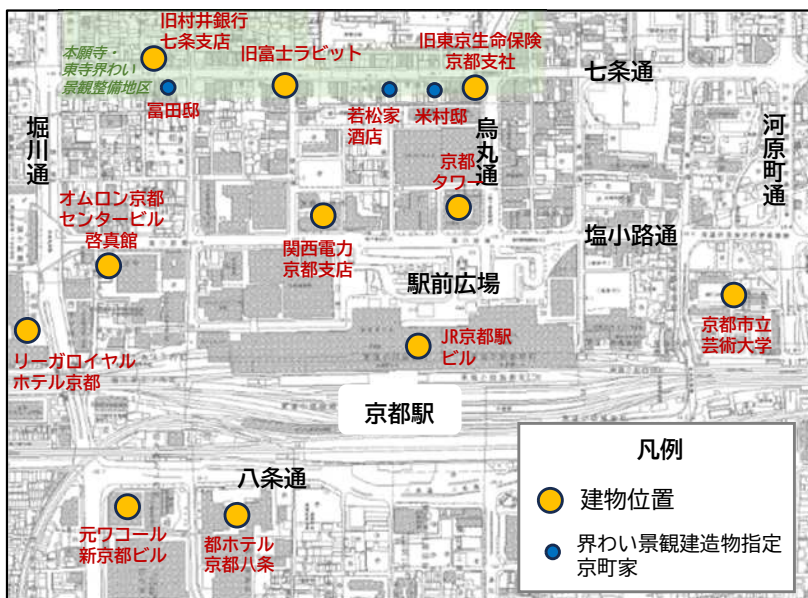
リーガロイヤルホテル京都
株式会社竹中工務店・吉田五十八



旧東京生命保険京都支社
安井武雄建築事務所



都ホテル 京都八条
村野藤吾



旧村井銀行七条支店
吉武長一



関西電力京都支店
武田五一



旧富士ラビット 58

○参考事例

他都市の駅前まちづくり

- ・近年、他都市においても駅周辺のまちづくりを推進

【大阪梅田】

- 近年、関西最大のターミナルとしての機能強化と、商業・文化施設の充実を両輪に発展
- オフィス・商業の高度集積、緑地・歩行者空間の整備拡充など、より快適で魅力的な都市空間を目指した取組が加速。ビジネスと観光の両面で活気あふれる街へと変貌。

グラングリーン大阪



©伊藤彰[アイフォト]

大阪駅



提供:ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社



提供:梅田地区エリアマネジメント実践連絡会

【神戸三宮】

- 駅周辺で、再開発事業が進み、オフィス・商業の集積、公共空間整備などが進行
- デザイン誘導を図りつつ、国際的な拠点都市を目指した魅力的なまちづくりを推進



出典:三宮周辺地区の「再整備基本構想」



サンキタ広場周辺



出典:FeelKOBESH神戸公式観光サイト

クロススクエア(東側第一段階将来イメージ)



出典:神戸三宮「えきまち空間」税関線景観デザインコード

商業・業務・公共的空間の潮流

オフィスの潮流

駅近ハイグレードオフィスのニーズの高まり

- ・ 利便性・従業員のウェルビーイング・人材確保・イノベーション創発の観点から、駅近ハイグレードオフィスのニーズが拡大
- ・ 企業の環境意識の向上・ESG投資の隆盛から、オフィスの省エネ性能を求める企業の増加
- ・ 高いセキュリティを求める企業の増加

商業・公共的空間の潮流

歩いて楽しめるウォークブルな賑わい

- ・ ゆとりと賑わいのある歩行者空間の創出による回遊性や利便性が向上、街の活性化へ



出典:ストリートデザインガイドライン
— 居心地が良く歩きたくなる街路づくりの参考書 —
(バージョン 2.0)国土交通省 都市局・道路局



多様な主体の集積・交流によるイノベーション創発

- ・ 多様な人々の集積・交流・協業により、新たな価値を生み出すことが企業成長の鍵に

時代の潮流に沿ったクリエイティブなオフィス

- ・近年のオフィスには、多様な働き方を実現するフレキシブルな空間や、コミュニケーションを生み出す交流空間、天井高の高い快適な空間等が求められる。
- ・フリーランスや出張中のビジネスマン等が、目的によって柔軟に場所や働き方を選ぶことができ、交流も出来るコワーキングスペースも求められている。

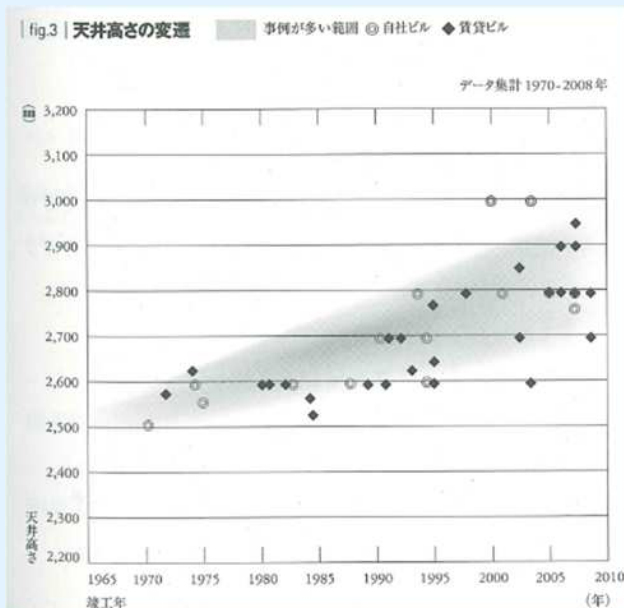
【オフィス空間の潮流】

- **フレキシブル・多様な働き方**
仕事の目的やスタイルに応じて、レイアウトや場所、規模を選ぶことができるオフィス

- **コミュニケーションの活性化**
新しいアイデアや人間関係を生み、コミュニケーションが活性化されるオフィス



- **快適で機能的な空間**
ゆとりある空間や設備更新性を企図した天井高の高いオフィス



オフィス天井高の変遷

出典：「オフィスブック」制作グループ編著
「オフィスブック」(2011) 朝倉国社

【ワーキングスペースの潮流】

従来のワークスペースに加え、集中できる個室や会議室、テレワークブース、交流・イベントスペースなど、多様なニーズに対応したスペース

JAM BASE (ジャムベース)



© Nacása & Partners Inc.

天神ビッグバン(福岡)

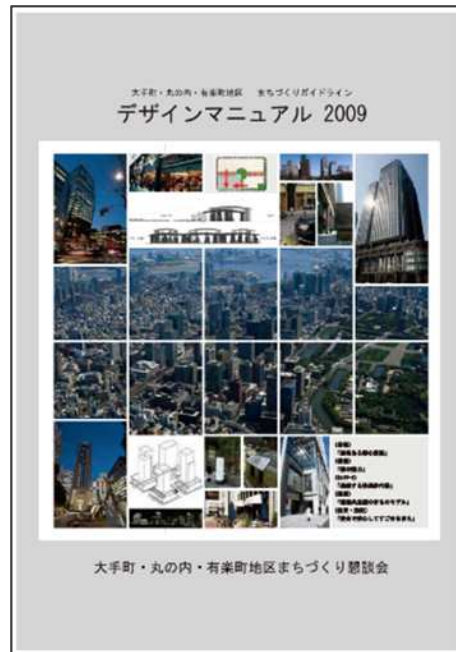
- ・ 航空法の高さ制限の特例承認や容積率緩和により、エリア内の再開発を促進。
- ・ 2015年制度開始以降、エリア内で多くのビルの建て替え
- ・ 歩行者空間や広場の整備が緩和の条件となっており、市街地環境の改善が同時に進んでいる。



出典 (左)博多っ子通信No.51(福岡市)
 (右上)航空法の高さ制限に係るエリア単位での高さの目安の提示について(国土交通省)
 (右下)天神ビッグバン ビル建替えにあわせ整備されるエリアごとの公共空間のイメージ(福岡市)

東京駅周辺

「大丸有まちづくり協議会」のガイドラインによる建物デザイン等のコントロール、歩行者空間の利活用



(一社) 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会

東京駅の駅前広場を車中心から人中心の空間に再編。多くの人々の憩いのスペースに。



出典:Googleストリートビュー(2013年6月撮影 @2025 Google)

出典:Googleストリートビュー(2023年9月撮影 @2025 Google)

神戸三宮「えき≈まち空間」・税関線デザインコード

柱1 公共空間と「まち」のつながり

- 方針1：都心の回遊性の向上
- 方針2：「まち」の特性をふまえた空間構成
- 方針3：官民一体となったにぎわい

柱2 開放感とゆとりを感じる空間

- 方針4：人が主役となる居心地良い空間
- 方針5：海や山・空への広がり

柱3 高質で穏やかなデザイン

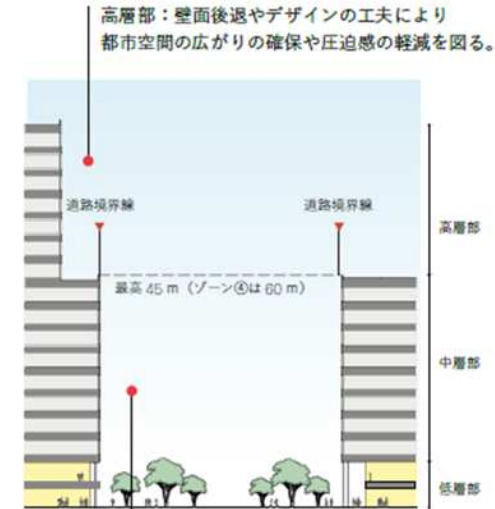
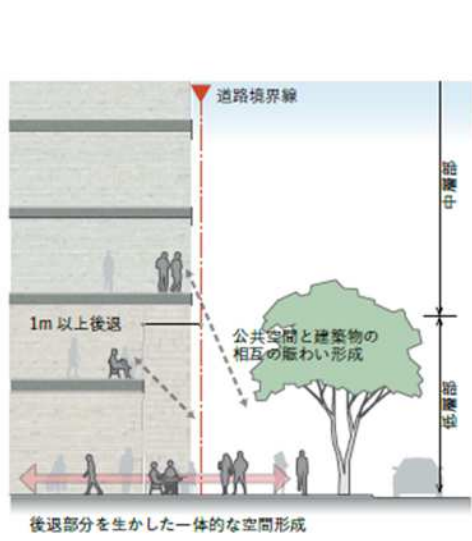
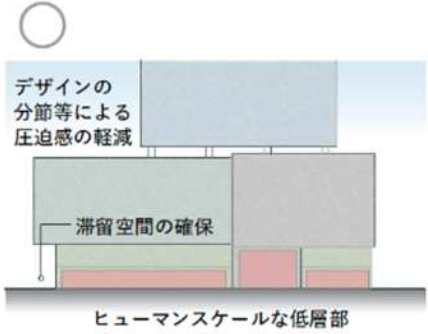
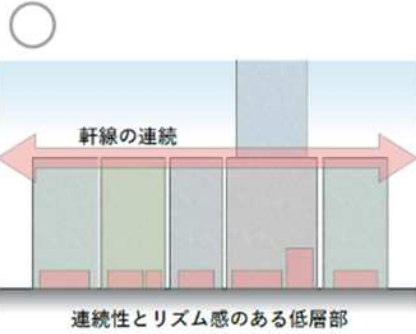
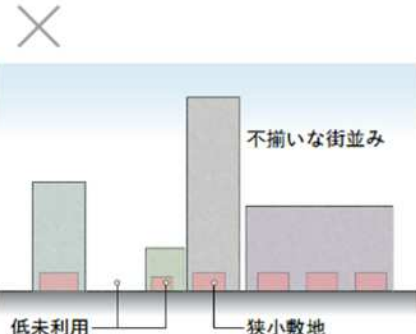
- 方針6：高質で穏やかな設え
- 方針7：にぎわいのある上品な夜間景観
- 方針8：地区や通りの特性をふまえた広告物

柱4 新しい神戸の玄関口

- 方針9：三宮交差点の顔づくり
- 方針10：神戸を象徴する空間

柱5 「海」と「山」をつなぐシンボルロード

- 方針11：「海」と「山」をつなぐ
- 方針12：統一感がありながら変化を演出



高層部：壁面後退やデザインの工夫により都市空間の広がり確保や圧迫感の軽減を図る。

中層部：公共空間と建築物の相互の賑わい形成を密接にし、まちなみの連続性を形成。

神戸三宮「えき≈まち空間」・税関線デザインコード

基準例（建築物）

※下記は基準の一部を例示したものであり、
基準のすべてではありません。

1 建築物の形態や壁面デザイン

建築物の壁面位置や軒線等の誘導により、まちなみの連続性、海や山への見通しや空への広がり確保する。

- 高層部のデザイン
- ・ 広がりのある都市空間を形成するよう、高層部の壁面を中層部より後退させる。
 - ・ 軽やかで控えめなデザインとする。

形態や意匠

周辺の建築物との壁面の位置や軒線、スカイラインの連続性に配慮する。



2 建築物の低層部や外構の設えとデザイン

建築物の低層部は、にぎわいを生む用途の配置やピロティなど開放性のある空間の確保により、公共空間と一体的なにぎわいを創出する。

低層部の空間
・ 壁面のデザイン

景観形成道路に面して、大きな開口部やピロティ等のオープンスペースを設けるなど、にぎわいや空間の広がりを創出する。

歩行者空間
・ オープンスペース

敷地や建築物内部で、公共空間と一体的に利用できる空間の創出に努める。



4 緑化や工作物などへの配慮

フラワーロードの愛称にふさわしい、まちに彩りを与える花や緑の演出などに配慮する。上質なまちなみとなるよう、工作物の修景や日よけ等の効果的な活用を行う。

緑化

壁面緑化や屋上緑化など、緑のうるおいが感じられる工夫を積極的に行う。

工作物
・ 建築設備等

- ・ 日よけテント等を設ける場合は、必要最小限のものとする。
- ・ 建築物や周辺環境と調和する大きさ、形状、色彩とする。



御堂筋デザインガイドライン

目的

＜まちの将来像とまちなみ創造の作法の共有と対話型まちなみ創造の実践＞

- ・国内外を問わず、土地所有者、建物事業者、店舗等のテナント事業者等、まちづくりに参画するすべての人々（事業者等）が御堂筋エリアの将来像と、御堂筋沿道における景観形成だけでなく幅広い視点からのまちなみ創造の作法を共有する必要があり、その羅針盤として本ガイドラインを策定するものです。
- ・本ガイドラインに沿って本市と事業者等が対話を行うことにより、デザイン等を適切に誘導し、もって、大阪のシンボルストリートにふさわしいにぎわいと魅力あるまちなみ創造、ひいては、御堂筋の活性化を推進することを目的とします。

＜進化するガイドライン＞

- ・社会環境・経済情勢の変化等に対応して、その内容を適宜見直し、より望ましい姿へと進化させていくこととしています。

基本的な考え方

- ・より良いまちなみの実現をめざし、風格のあるまちなみを形成するための形態誘導や、にぎわい形成のための具体的な指針等を示します。
- ・建築物の外観デザインや低層部のにぎわいの質などは、一定の条件のもとに事業者等の創意工夫に委ね、魅力的で陳腐化しないまちづくりの実践を誘発することを意図し、望ましい参考事例等（写真等）を列挙しながら、指針等を示します。

対象となる行為

- ・建築物を新築、増築、改築、移転する場合
- ・道路に面する外観の模様替え、外構の模様替えをする場合
- ・用途変更、大規模の修繕又は大規模な模様替えをする場合
- ・屋外広告物を設置、増設、表示の変更、移設、改造する場合

◆御堂筋にふさわしいにぎわいと魅力あるまちなみのルール

大阪のシンボルストリートにふさわしいにぎわいと魅力あるまちなみ創造に向けて、周辺のまちなみの状況を把握し、地域の歴史やまちの成り立ちを考慮したうえで、建築物及び敷地単位のみだけでなく、周辺環境や御堂筋沿道全体として調和も配慮しながら、本デザインガイドラインに沿って建築物等の配置、規模、形態・意匠、低層部の用途等の内容について検討してください。

(1) 風格あるビジネスゾーンの形成に向けて

1) 落ち着きと統一感のあるまちなみの形成

●御堂筋にふさわしい外観 (形態) ～基壇部の形成～

- ・これまでに形成されてきたまちなみの連続性を継承するため、高さ50mで基壇部を形成し、軒線を強調

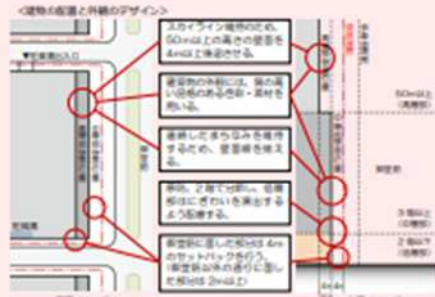
～50m軒線の強調～



軒線で軒を強調している例



中層部と高層部で意匠を切り替えている例



(意匠)

- ・低層部と中層部はデザイン的に分節されるよう工夫すること



素材や意匠の切り替えにより低層部と中層部を分節している例

- ・壁面は窓と壁で構成することを基本とする



独立窓とし陰影を演出している例



マリオンとルーバーで意匠を演出している例

- ・壁面の素材は重厚感があり、時の経過とともに風合いを増すもの等を用いることを基本とする



外観の素材イメージ

2) 街区で調和した魅力的な空間づくり

- ・船場後退・壁面後退部分の設えの配慮



A

- ・植栽の配置の統一



並木をAの位置に設けた例

- ・舗装材(歩道・壁面後退)の統一への配慮



東西方向道路の舗装材・舗装パターンの違い

など

(2) 上質なにぎわいのあるまちなみの形成に向けて

1) 低層部におけるにぎわい形成に資する用途の導入

●御堂筋に面する低層部の用途

- ・店舗、飲食店、展示場、美術館、博物館など、御堂筋にふさわしい用途・テナントの質、及び形態・意匠などについて配慮



1階に店舗を設けている例



1階と2階に店舗等を設けている例

2) 低層部における上質で魅力的なにぎわい空間の創出 (形態・意匠等)



まちなみをつくりつつにぎわいを醸成することができる小規模な店舗



ヒューマンスケールに配慮した小規模で、透明感のある構成としている例

3) 船場地区を含めたにぎわい機能

・空間の拡張

- ・御堂筋以外の道路沿いへのにぎわい誘導の検討



4) オープンスペースの利活用

- ・壁面後退部分を飲食スペースやイベントスペースとして利活用



壁面後退部分でマルシェを開催している例

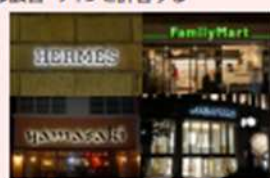
5) 魅力的な夜間景観の創出

- ・建物からの漏れ灯りにより、沿道を柔らかく照らすよう配慮
- ・上質で温かみのある御堂筋にふさわしい色温度(3,000K以下)を原則とする



6) 広告・サイン等の取扱い

- ・低層部では上質なにぎわいを演出する広告・サインを許容する



切り文字を用いてデザインに配慮した、スマートで表情のあるサインの例

- ・暫定利用、イベント対応時に限り、設置基準等を適用除外(ただし、地域団体の意見を踏まえたものとする)



など

各都市における街並みの事例

大阪・御堂筋



出典：Googleストリートビュー

神戸・旧居留地



出典：神戸旧居留地ホームページ

東京・丸の内仲通



出典：DMO東京丸の内ホームページ

東京・品川インターシティ



出典：Googleストリートビュー

各都市における公共空間の事例

グラングリーン大阪



©伊藤彰[アイフォト]

熊本駅・駅前広場



出典:yAt構造設計事務所ホームページ

東京駅・丸の内駅前広場



©パブリックドメインQ

神戸三宮・サンキタ広場



©一般財団法人神戸観光局

多様な人々が憩える滞留空間の創出

駅前広場・公園や建物敷地内で憩い・交流が可能なオープンスペースを創出し、多様な人々の滞留を生み出す事例が増えている。

●公共的空間における事例

○グラングリーン大阪

大きな緑地を創出し、目的地となる広場



©伊藤彰[アイフォト]

○姫路駅前広場

歩車空間の再編等で人のための空間を拡充



●建物敷地における事例

○神戸大丸(神戸旧居留地)

通りに面してオープンカフェを創出



出典：Googleストリートビュー

○丸の内ブリックスクエア(東京)

敷地の内部に憩いの場を創出



出典：Googleストリートビュー

歩きやすい豊かな歩行者空間

●道路空間における事例

○姫路駅前～大手前通

歩車空間を再編し、駅前広場・歩道・姫路城へと、わかりやすく、ゆとりある空間に。



出典：国土交通省資料

○御堂筋通

側道を歩行者空間に整備し、賑わいを創出



出典：国土交通省資料

○定禅寺通（仙台市）

道路の一部を活用し、賑わい・滞留空間に。



事業主体：(株) 仙台協立／定禅寺ストリートアライアンス
(定禅寺通活性化検討会プロジェクト型ワーキンググループ)
企画：(株) 仙台協立／Sendai Development Commission (株)／NPO法人自治経営／(株) L・P・D
設計：(株) L・P・D

○丸の内仲通（東京都）

民間敷地内に歩道と一体の歩行者空間を整備し、ゆとりある空間を確保



出典：近代建築の楽しみ 71

他都市の駅前 歩道幅員

- ・大阪駅前、三宮駅前の駅前大通りの歩道幅員は約6 m以上

【大阪駅前】



【神戸三宮駅前】



まちへの良好なアクセスの実現

●アクセス性・まちとのつながり向上の事例

地上



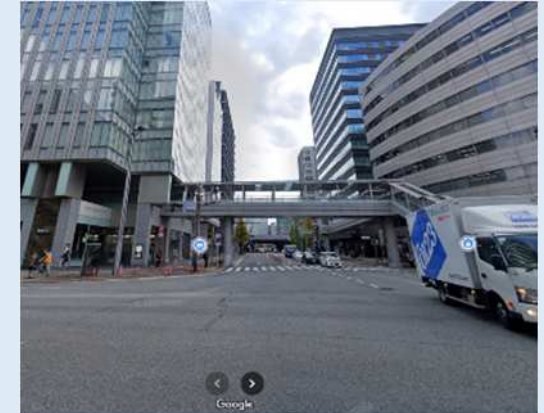
車道の歩行者空間化
(駅—まちのアクセス・つながり)

出典:なんば広場改造計画HP

貫通通路
(通り抜け可能な建物内通路)

出典:Nagoまちスペースづくりガイドライン

上空



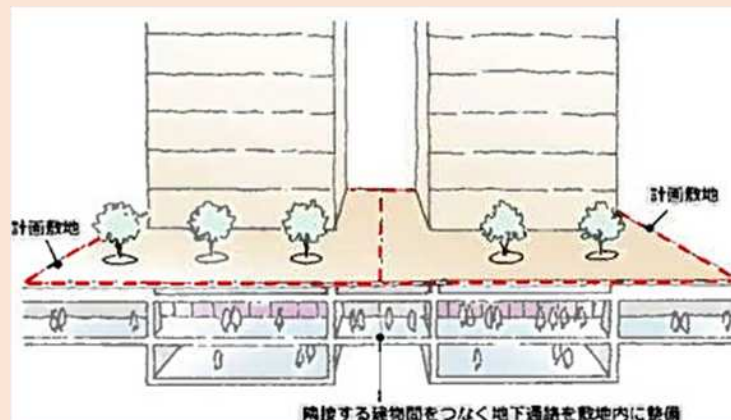
上空デッキによる接続

出典:Google社「GoogleStreetView」

地下



地下接続
(地下鉄・地下街—建物地下・地上)



地下接続(隣接建物同士)

出典:左「天神ビジネスセンターパンフレット」福岡地所(株)
中・右「都心の地下歩行ネットワーク拡充手法に関する基本方針(案)」札幌市



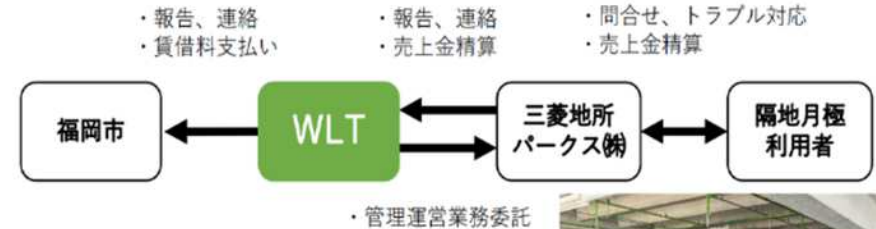
地下出入口の建物取り込み

エリアマネジメント

事例1【 We Love天神協議会（福岡市）】

福岡天神エリアの企業、団体、住民、行政など多様な活動主体で構成するエリアマネジメント団体。

安全安心で快適な環境の形成、地区の価値集客力の向上、地方経済の活性化、及び生活文化の創造などを目的として“まちづくり”を推進。



隔地駐車場運営（収益事業）



ほこみち制度による賑わい創出



一時滞在施設を活用した避難所運営訓練



ガイドラインの作成・運用

エリアマネジメント

事例2

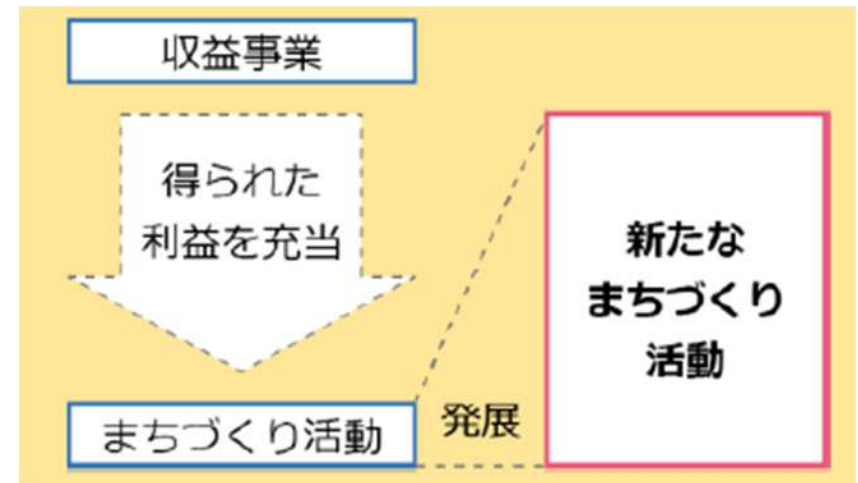
【札幌駅前通まちづくり株式会社(札幌市)】
地域のまちづくり組織や沿道企業による個別の活動を、より発展的かつ一体的に展開するための総合調整機能を担うエリアマネジメント団体



賑わいづくり (サッポロフラワーカーペット)



壁面広告収益事業



地下歩行空間の利用料（指定管理）や壁面広告などの収益事業により財源を創出し、まちづくり活動に還元